

平成 28 年度幼児教育の推進体制構築事業成果報告書（概要）

1. 調査研究テーマ

- (ア) 「幼児教育アドバイザー」育成・配置に関する調査研究
- (イ) 「幼児教育センター」の設置に関する調査研究
- (ウ) 幼児教育の質の向上を図るために必要な推進体制に関する調査研究

2. 平成 28 年度に実施した主な調査研究内容

(1) アドバイザー訪問施設数（平成 29 年 3 月 31 日時点）：

幼稚園			うち、幼稚園型 認定こども園			幼保連携型 認定こども園			保育所		うち、保育所型 認定こども園		地方裁量型 認定こども園		小学校
26/41			14/15			9/9			81/253		6/6		2/2		0/192
園	園	園	園	園	園	園	園	園	所	所	園	園	園	園	校
国	公	私	国	公	私	国	公	私	公	私	公	私	公	私	
1/1	9/12	16/28	0/0	0/0	14/15	0/0	6/6	3/3	50/138	31/115	0/0	6/6	0/0	2/2	
園	園	園	園	園	園	園	園	園	所	所	園	園	園	園	

※アドバイザー配置人数：11 人（内、9 人は県費負担）

※アドバイザーの最終経歴：保育所・幼稚園・認定こども園長

高知県教育委員会事務局幼保支援課及び県教育センター職員

(2) センターの設置：

- ・設置年度：平成 15 年度 4 月
- ・設置形態：組織として設置

(3) その他幼児教育の質の向上を図るために必要な推進体制に関する調査研究

- ・園評価システムの構築による組織力・実践力の研究・調査
- ・キャリアステージに応じた人材育成研修の充実
- ・小学校への円滑な接続に向けた基盤づくり

3. 成果

(1) アウトプット

①教育・保育の質向上ガイドラインの策定と活用についての周知・支援

- ・平成 28 年 12 月策定し、平成 29 年 2 月県内の幼稚園・保育所等の臨時職員を含む全ての保育者に配付した。

（主な内容）保育者が実践の振り返りができる自己課題発見シート

保育者育成指標

キャリアステージにおける資質・指導力チェックシート

- ・自己課題発見シートを 112 園（幼稚園・保育所等の 3 分の 1 以上）において試行し、実施後の意見をガイドラインの内容に反映させた。
- ・平成 29 年 1 月から、アドバイザーや指導主事等が要望のあった幼稚園・保育所等へのガイドラインを活用した園内研修の支援を実施した。

幼稚園・保育所等における園内研修：18 施設

市の保育者研修：1 回

園長会：1 回

②保育者育成指標の作成

（主な内容）各キャリアステージ終了までに求める姿

キャリアステージに応じて保育者が身に付けたい 15 の資質・指導力
行動目標

- ・ 幼稚園・保育所等において経験年数20年以上の保育者又は園長・所長のいずれか1名を対象に、保育者として身に付けたい15の資質・指導力について「身に付いた時期」「身に付けることが望ましい時期」についてアンケート調査を実施した。

③保育者実践力向上DVDの作成・配付（平成29年3月下旬）

- （主な内容）幼稚園教育要領等に基づく幼児教育についての解説
4、5歳児の保育と解説

④研究園における園内研修支援

- ・ 年間10回の園内研修支援と県内の保育所での視察研修を行い、保育の見直しを行った。
- ・ 積み重ねてきた園内研修の成果等について発表した。

⑤市町村教育委員会や小学校等との連携体制の構築

- ・ 保幼小接続期カリキュラム研修会の実施（県内2会場：248人参加）
保育者152名、小学校教員61名、行政関係者35名
- ・ 幼児と児童の交流や教職員同士の交流・連携の充実に向けた視点等の説明と取組依頼
教育事務所長会3回、市町村教育長会3回、校長会1回、指導事務担当者会3回

⑥シンポジウムの開催（平成28年11月1・2日）

- テーマ：キャリアステージに応じた人材育成研修の充実
内容：ミドル研修の公開、人材育成研修の取組発表、基調講演等

⑦ホームページ開設による幼児教育についての周知・情報提供

(2) アウトカム

①自己課題発見シート試行後のアンケート結果（112園、763人回答）

- 「保育をするときの観点を広げることができた」「定期的に取り組むことで、保育の質の向上に努めていきたい」等、肯定的回答が多かった。

②アドバイザーや指導主事等による園内研修等の支援

- ・ ガイドラインについての理解が少しずつ図られている。
- ・ 各シートの活用を通して保育実践の振り返りにつながり、保育者が保育の視点を広げたり、自分の課題に合わせた目標をもつことができたりしていた。

③保育者の資質・指導力の向上に関するアンケート結果（306園回答）

- ・ 全体的な傾向：保育者として身に付けたい15の資質・指導力について「いつごろに身に付けることが望ましいか」という質問に対して、5年目という割合が高く、次いで、10年目、3年目、15年目という結果になった。
- ・ キャリアステージの設定
基礎ステージ：新規採用保育者、5年未満の保育者
中堅ステージ：5年～10年未満の保育者、中堅保育者（10年以上）
管理職ステージ：主任・教頭等、所長・園長

④研究園の変容

- ・ 子どもの主体性を大切に環境構成と援助を見直したことより、子どもの姿が変わってきたことから、園内研修の必要性についての理解が進み、積極的に質問したり、学んだことを実践したりする姿が見られるようになった。
- ・ 指導主事による幼児教育の重要性とその方法について保護者講話を行ったことにより、保護者の保育への関心が深まり、幼児教育への理解も進んだ。

⑤保幼小接続期カリキュラム研修会のアンケート結果

講演が「とても参考になった」「参考になった」と回答した割合 96.3%

自由記述：保幼小の子どもたちの課題は何か、今必要な力は何かを考え、見直しを行いながら連携を深めていく必要があると感じた。

4. 上記を含めた、平成 29 年度の実施計画

- ・ 園評価システムの構築による組織力・実践力の研究・調査
- ・ キャリアステージに応じた人材育成研修の再構築
- ・ 小学校への円滑な接続に向けた仕組みの構築

高知県教育・保育の質向上ガイドラインの概要

高知県教育委員会事務局幼保支援課

背景(教育・保育をめぐる近年の状況)

平成28年3月に「高知県教育等の振興に関する施策の大綱」の策定。

・大綱の内容を踏まえ、「第2期高知県教育振興基本計画」の策定(平成28年3月)。5つの取組の方向性の1つに「就学前教育の充実」を位置づけ。平成30年に保育所保育指針の改定、幼稚園教育要領の改訂、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改訂の予定。

- ・「量」と「質」の両面から子どもの育ちと子育てを社会全体で支える「子ども・子育て支援新制度」の施行(平成27年4月)。
- ・予測できない変化に主体的に向き合っており、よりよい社会と幸福な人生の創り手となっていけるような教育及び保育の提供が重要。
- ・主体的に学びに向かい、必要な情報を判断し、自ら知識を深めて個性や能力を伸ばし、人生を切り拓いていくことができる子どもの育成が必要。

教育・保育の質向上ガイドラインの内容

(1) 子どもを取り巻く状況を踏まえた教育・保育の取組の充実

国や県における子どもを取り巻く状況から、新しい時代にふさわしい力を確実に育成していくため、乳幼児期の発達の特徴に合わせた教育及び保育の重要性と具体的な取り組み方について説明。

子どもの主体的な活動を確保し、子どもが自らの力で発達に必要な経験が得られるよう、子どもにとって重要な学習である遊びの大切さを確認。

(2) 保育者として身に付けたい資質・指導力

保育者として基本的におさえておきたい事項等について振り返り、課題の発見から次の目標を考えられるよう「自己課題発見シート」を掲載。

臨時職員を含む全ての保育者が、自身や園の実践を「自己課題発見シート」を基に振り返ることにより、保育者としての資質や専門性を高め、教育及び保育の質を向上。

(3) 保育者育成指標に基づくキャリアステージに応じた人材育成

15の保育者として身に付けたい資質・指導力をキャリアステージごとに示した「保育者育成指標」を提示。

各ステージに示された資質・指導力を身に付けるため、具体的な行動例を基に定期的な実践を振り返ることにより、キャリアステージに応じた人材を育成。

(4) 組織力の向上

保育者間でお互いの課題を理解し、協力し合いながら専門性の向上を図るため、「自己目標設定シート」「自己目標共有シート」を掲載。

具体的な章構成

第1章 教育・保育の質向上ガイドラインの策定にあたって

- ①乳幼児期の教育・保育の役割
- ②高知県の子どもを取り巻く状況及び取組
- ③ガイドラインの必要性

第2章 乳幼児期の発達の特徴に合わせた教育及び保育と保育者に求められる資質・指導力

- ①保育者として身に付けたい資質・指導力
- ②乳幼児期における教育及び保育
- ③保育者としての資質・指導力を高めていくために

第3章 各キャリアステージに求められる資質・指導力

- ①キャリアステージにおける保育者育成指標
- ②キャリアステージにおける資質・指導力

第4章 教育・保育の質向上ガイドラインの活用方法

- ①個人の資質・指導力向上に向けて
- ②組織力向上に向けて

今後のスケジュール

平成29年2月に各園へ配付、幼保支援課ホームページに掲載
平成29年4月に県内5会場で説明会の実施
高知県幼保推進協議会において活用状況の把握